

日本語能力が N2 の学生が履修^{りしゅう}できる日本語科目

N2 レベルは次ページ以降の科目を取ることができます。科目コードは学部によって違うことがあるので、自分が所属している学部の資料を確認してください。

【日本語科目の表の見方】

学籍番号 (Student number) をよく確認してください。

HK2024-123

* 学部学科や学年によって、履修できる科目とできない科目があります。

* 「ALL」となっているものは、すべての留学生 (交換留学生を含む) が履修できます。

BG	経営情報学部 総合経営学科	EG	交換留学生：経営情報学部 総合経営学科
HL	国際人文学部 国際文化学科	EL	交換留学生：国際人文学部 国際文化学科
HK	国際人文学部 国際交流学科	EK	交換留学生：国際人文学部 国際交流学科
FF	福祉総合学部 福祉総合学科	EF	交換留学生：福祉総合学部 福祉総合学科
TW	観光学部 観光学科	EW	交換留学生：観光学部 観光学科
PC	薬学部 医療薬学科	EC	交換留学生：薬学部 医療薬学科
XA	メディア学部 メディア情報学科	EA	交換留学生：メディア学部 メディア情報学科

【注意】

- ・ 授業内容をよく確認して、自分の日本語のレベルに合った授業を履修するようにしてください。
- ・ 詳しい授業内容はウェブでも確認することができます。アドバイザーの先生とよく相談してください。
- ・ 自分の学部の授業については、学生便覧を見てください。
必要な日本語科目の単位数がよく分からない人は、アドバイザーの先生に質問してください。
- ・ 日本語の授業の履修登録の方法は、所属学部から説明をよく聞いてください。
- ・ 週2回の科目は、必ず週2回出席する必要があります。週1回だけ出席しても単位をとることはできません。

【S1 に取れる科目】

授業コード	科目名	履修できる学科	単位	教員	曜日・時限
100410601	日本語 I	ALL	2	高木	月 1 限 / 水 1 限
<p>この授業は、日本での留学生活に必要な日本文化や社会に関する理解を深めながら、日本語のコミュニケーション力をつけることが目的です。授業では、毎回、日常生活や文化やニュースなどをテーマにして、それらに関する生の日本語を読んだり聞いたりしながら、話したり書いたりする練習を行います。コミュニケーションの練習には、それぞれ「Can-do（日本語を使ってできること）」という達成目標があります。この授業のすべての Can-do が達成できれば、日本での留学生活がもっと充実することでしょう。授業外では、毎回、4 時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100410801	統合日本語 I	BG/TW/FF/XA/PC EG/EW/EF/EA/EC	2	佐藤	月 1 限 / 水 1 限
<p>この授業では、内容言語統合型学習（CLIL）の 4 つの C（内容、言語知識・言語使用、思考、協学）の方法を用います。オーセンティックな教材を用いて、学習者は能動的に授業に参加し、協働学習を通じて、発話力や表現力を養います。内容と言語を学び、それらを自分の言葉でまとめたり、意見を述べたりできるようにします。そして、クリティカルに考えられるようにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深め、思考力を養います。最後は発表したり議論したりして学びの成果をまとめます。授業外では、毎回、4 時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100411001	日本語アカデミック・ライティング	ALL	2	高木	水 2 限 / 金 2 限
<p>この授業は、アカデミックなライティング力を養うことが目的です。日本の大学の一般的な日本語のレポートの書き方を学びながら、テーマについて考え、それをレポートにまとめる練習をします。授業では、まず自分の関心に合わせてテーマを選び、必要な調査を行い、調べたことをもとに考察し、1 つのレポートを完成していきます。大学のレポートらしい論理の立て方、資料の集め方、引用の方法も学びます。授業外では、毎回、4 時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100411202	社会と文化の日本語 A	ALL	2	小塚	水 1 限 / 金 1 限
<p>この授業では、主に地域文化・社会を題材に内容を学び、その学びを通して言語知識を身につけます。内容を通してコミュニケーション力を養い、学習者同士が一緒に学び合いながら、言語力を養います。主に地域（千葉周辺）の地理や歴史を題材に内容を学び、その学びを通して言語知識を身につけます。言語知識を実際に使えるように自分の言葉でまとめたり、意見を述べたりします。そして、クリティカルに考えられるようにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深めます。毎回、4 時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100370103	日本語（言語知識）	HK/HL/BG/FF/TW/XA/PC	2	木下	火 2 限 / 木 2 限
100370104		EK/EL/EG/EF/EW/EA	2	藤代	火 1 限 / 木 1 限
<p>この授業は、上級レベルの力をつけるためのクラスで、N1 合格を目指します。試験のための言語知識・文法に関する問題の解き方など、どのようなストラテジーで問題を解いていくか、問題解答の方略を学びます。また、この授業では、単に言語知識を得るだけではなく、学んだ知識を活用して、学部の学びの中で使用できるようになることを目指します。従って、学んだ文法知識を使って文章を書いたり、読んだり、話したりすることも学びます。授業外では、毎回、4 時間程度の課題と復習が必要です。</p>					

100370203	日本語（読解・聴解）	HK/HL/BG/FF/TW/XA/PC	2	藤代	火3限/木3限
100370201		EK/EL/EG/EF/EW/EA	2	木下	火1限/木1限
<p>この授業は、上級レベルの力をつけるためのクラスで、N1合格を目指します。試験のための読解・聴解に関する問題の解き方など、どのようなストラテジーで問題を解いていくか、問題解答の方略を学びます。また、この授業では、単に読解・懲戒の知識を得るだけではなく、学んだ知識を活用して、学部の学びの中で使用できるようになることを目指します。従って、学んだ読解内容から文章を書いたり、読んだり、話したりすることも学びます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100302701	ビジネス日本語 I	ALL	2	羽鳥	月2限/水2限
<p>この授業では、ビジネスマナーの基本、敬意表現と依頼・謝罪・断りなどの機能表現などを学びます。そして、ビジネス場面から会話文やマナーを学びます。そして、日本の企業文化などは、ケーススタディを読んだりディスカッションしたりし、理解を深め、ビジネス場面における発話力や表現力を養います。ビジネスに関する語彙や前置き表現なども合わせて学びます。また、ビジネス文書の読み方・書き方なども含め、読む・書く・聞く・話すの4技能をバランスよく学んでいきます。</p>					

【S2 に取れる科目】

授業コード	科目名	履修できる学科	単位	教員	曜日・時限
100410701	日本語Ⅱ	HL/HK/EL/EK	2	高木	月1限/水1限
100410704		BG/TW/FF/XA/PC EG/EW/EF/EA/EC	2	羽鳥	火1限/木1限
<p>この授業は、「日本語Ⅰ」の授業に続き、さらに日本文化や社会に関する理解を深めながら、日本語のコミュニケーション力をつけることが目的です。授業では、毎回、日常生活や文化やニュースなどをテーマにして、それらに関する生の日本語を読んだり聞いたりしながら、話したり書いたりする練習を行います。コミュニケーションの練習には、それぞれ「Can-do (日本語を使ってできること)」という達成目標があります。この授業のすべての Can-do が達成できれば、日本での留学生活がもっと充実することでしょう。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100410901	統合日本語Ⅱ	ALL	2	高柳	月2限/水2限
<p>この授業では、「統合日本語Ⅰ」に引き続き、内容言語統合型学習 (CLIL) の4つのC (内容、言語知識・言語使用、思考、協学) の方法を用いて、学生の思考力や協働で学ぶ力を養います。この授業では、言語知識を学ぶだけでなく、学習者は能動的に参加し、発話力や表現力を養います。日本の社会問題や災害問題などオーセンティックな言語素材を通して読む・聞く・書く・話すの4技能を学び、学んだ言語知識が実際に使えるようにするためにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深めます。最後は発表したり議論したりして学びの成果をまとめます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100353702	統合日本語Ⅲ	ALL	2	佐藤	火2限/木2限
<p>この授業は、日本語の運用能力が上級程度の日本語力を有する学生を対象に開講されるクラスです。学習者は、様々なトピックについて日本語で学びます。SDGs や日本文化などオーセンティックな言語素材を通して読む・聞く・書く・話すの4技能を通して学び、学んだ言語知識が実際に使えるようになるために自分の言葉でまとめたり、意見を述べられるようにします。そして、クリティカルに考えられるようにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深めます。最後は発表したり議論したりして学びの成果をまとめます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100411101	日本語アカデミック・スピーキング	ALL	2	藤代	火1限/木1限
<p>この授業では、アカデミックなスピーキング力を養うことが目的です。特に、大学の授業で自分の考えを、スライドを使って口頭発表 (プレゼンテーション) する練習を行います。授業では、発表テーマの立て方、考察や結論のまとめ方、スライドと発表原稿の作り方や発表時の話し方まで、口頭発表の準備をしながら練習を重ねていきます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100046702	日本語Ⅲ	ALL	2	坂本	月2限/水2限
<p>この授業は、日本語の運用能力が上級程度の日本語力を有する学生を対象に開講されるクラスです。「日本語Ⅱ」に引き続き、様々なトピックについて日本語で学びます。学部につながるための日本語力を養います。読む・聞く・書く・話すの4技能を通して、文法・読解・聴解・文字・語彙などをバランスよく総合的に学んでいきます。学んだ言語知識が実際に使えるようにするために自分の言葉でまとめたり、意見を述べられるようにします。そして、ペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深めたり、思考力を養います。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
180295501	専門日本語 (異文化コミュニケーション)	ALL	2	佐藤	月1限/水1限

<p>この授業は国際交流学科の授業につながる科目です。この授業では、日本人とのコミュニケーションについて事例研究をしながら、ディスカッションを中心に学んでいきます。日本人の「察しと遠慮」、曖昧な日本語表現を異文化コミュニケーションの観点から学んでいきます。言語のコミュニケーションスタイルの違いにも触れ、学習者の異文化体験を語り合ったり日本人学生から意見を聞いたりしながら、日本型のコミュニケーションを学びます。学ぶ内容を通して日本語表現・文法・語彙を学びます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100362701	専門日本語（福祉・介護）	ALL	2	齋藤	月2限/水2限
<p>この授業は、福祉総合学部の授業につながる科目です。介護日本語のテキストを使い、どのようなコミュニケーションが行われるのか、分析しながらモデル会話の練習をします。ペアワークやグループワークを通して意見交換をしたり、情報を集めたりして協働学習を行います。この授業では、学習者の能動的な参加が求められます。学習者が積極的に情報を自ら調べて整理し、多角的に捉え、自分の言葉で完結に述べたり議論したりした上で、福祉に関わるトピックの記事や情報を読んだり、ディスカッションしたりする中で専門用語・日本語表現・文法・語彙を学んでいきます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
180295601	専門日本語（文学・評論）	HL/HK/EG/EL/EK	2	山崎	火1限/木2限
<p>学部と社会につなげる学び：国際文化学科の学生を推奨。この授業では、日本文学を含む現代文章が読めて語れる学びにつなげる科目である。日本文学や現代文章を読む活動を通して日本人の価値観・思考、日本事情、そして日本文化について理解し、ペアワーク・グループワークで語りあい、自分の考えを述べたり、議論したりできるようになることを目的としている。読む内容を通して日本語表現・文法・語彙を学び、発話力・表現力を身につける。最後には学習者が能動的に情報を自ら調べて整理し、作品に関するレポートをまとめる。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要。</p>					
100302801	ビジネス日本語Ⅱ	ALL	2	羽鳥	月2限/水2限
<p>この授業では、「ビジネス日本語Ⅰ」に引き続き、ビジネス日本語を学びます。アポイントの取り方、会議に参加する、クレームを受ける・報告する・処理する、会議で提案する、催促する、交渉するなどのビジネス場面から会話文を学び、ペアワークやグループワークでディスカッションしながら理解を深めます。そして、企業文化などは、ケーススタディを読んだりディスカッションしたりします。ビジネスに関する語彙や前置き表現、敬意表現などを学びます。</p>					
180292201	キャリア日本語（進学）	ALL	2	木下	火1限/木1限
<p>この授業は、論文の書き方と大学院進学準備のための科目です。大学院進学のための必要なスキルと論文の書き方を主に学びます。具体的には、大学院の探し方、大学院の分析、資料の取り寄せ方、志望動機の書き方などを学びます。この授業では、読む・話す・書く・聞くの4技能をバランスよく学びます。専門については、学習者が自ら資料を探し、発表し、学部で身につけておかなければならない自分の専門について、語れる、発表できる、論じられる内容の知識を身につけます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
180292102	キャリア日本語（就職）	ALL	2	羽鳥	月1限/水1限
<p>この科目は、社会に出るための準備クラスです。将来、日本で働きたいと考える学生のために設定されています。この授業では、ビジネスコミュニケーションを図るために会社内の会話文やケーススタディから学びます。そして、就職のための日本語（履歴書の書き方、面接の仕方、企業分析、エントリーシートの書き方）を学びます。また、授業では、コミュニケーション能力を上げるために、テーマ別に調べる・考える・話し合うなどディスカッションを中心に授業を進めます。自らのテーマについてのプレゼンテーション力を上げる学びをします。また、協働で学び合う力も養います。</p>					

【F 1 に取れる科目】

授業コード	科目名	履修できる学科	単位	教員	曜日・時限
100410602	日本語 I	HL/HK/EL/EK	2	佐藤	月 1 限 / 水 1 限
100410605		BG/TW/FF/XA/PC EG/EW/EF/EA/EC	2	高木	月 1 限 / 水 1 限
<p>この授業は、日本での留学生活に必要な日本文化や社会に関する理解を深めながら、日本語のコミュニケーション力をつけることが目的です。授業では、毎回、日常生活や文化やニュースなどをテーマにして、それらに関する生の日本語を読んだり聞いたりしながら、話したり書いたりする練習を行います。コミュニケーションの練習には、それぞれ「Can-do (日本語を使ってできること)」という達成目標があります。この授業のすべての Can-do が達成できれば、日本での留学生活がもっと充実することでしょう。授業外では、毎回、4 時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100410802	統合日本語 I	BG/TW/FF/XA/PC EG/EW/EF/EA/EC HL/HK/EL/EK	2	高柳	月 2 限 / 水 2 限
<p>この授業では、内容言語統合型学習 (CLIL) の 4 つの C (内容、言語知識・言語使用、思考、協学) の方法を用います。オーセンティックな教材を用いて、学習者は能動的に授業に参加し、協働学習を通じて、発話力や表現力を養います。内容と言語を学び、それらを自分の言葉でまとめたり、意見を述べたりできるようにします。そして、クリティカルに考えられるようにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深め、思考力を養います。最後は発表したり議論したりして学びの成果をまとめます。授業外では、毎回、4 時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100411004	日本語アカデミック・ライティング	HL/HK/EL/EK	2	藤代	火 3 限 / 木 3 限
<p>この授業は、アカデミックなライティング力を養うことが目的です。日本の大学の一般的な日本語のレポートの書き方を学びながら、テーマについて考え、それをレポートにまとめる練習をします。授業では、まず自分の関心に合わせてテーマを選び、必要な調査を行い、調べたことをもとに考察し、1 つのレポートを完成していきます。大学のレポートらしい論理の立て方、資料の集め方、引用の方法も学びます。授業外では、毎回、4 時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100411203	社会と文化の日本語 A	ALL	2	山崎	火 1 限 / 木 1 限
<p>この授業では、主に地域文化・社会を題材に内容を学び、その学びを通して言語知識を身につけます。内容を通してコミュニケーション力を養い、学習者同士と一緒に学び合いながら、言語力を養います。主に地域 (千葉周辺) の地理や歴史を題材に内容を学び、その学びを通して言語知識を身につけます。言語知識を実際に使えるように自分の言葉でまとめたり、意見を述べたりします。そして、クリティカルに考えられるようにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深めます。毎回、4 時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100370101	日本語 (言語知識)	HK/HL/BG/FF/TW/XA/PC	2	木下	月 2 限 / 水 2 限
100370102		EK/EL/EG/EF/EW/EA	2	藤代	火 1 限 / 木 1 限
<p>この授業は、上級レベルの力をつけるためのクラスで、N1 合格を目指します。試験のための言語知識・文法に関する問題の解き方など、どのようなストラテジーで問題を解いていくか、問題解答の方略を学びます。また、この授業では、単に言語知識を得るだけではなく、学んだ知識を活用して、学部での学びの中で使用できるようになることを目指します。従って、学んだ文法知識を使って文章を書いたり、読んだり、話したり</p>					

することも学びます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。					
100370205	日本語（読解・聴解）	HK/HL/BG/FF/TW/XA/PC	2	木下	火2限/木2限
100370207		EK/EL/EG/E2F/EW/EA	2	坂本	月2限/水2限
この授業は、上級レベルの力をつけるためのクラスで、N1合格を目指します。試験のための読解・聴解に関する問題の解き方など、どのようなストラテジーで問題を解いていくか、問題解答の方略を学びます。また、この授業では、単に読解・懲戒の知識を得るだけではなく、学んだ知識を活用して、学部の学びの中で使用できるようになることを目指します。従って、学んだ読解内容から文章を書いたり、読んだり、話したりすることも学びます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。					
180295403	専門日本語（ホテル・観光）	ALL	2	齋藤	火1限/木1限
学部と社会につなげる学び：観光学部の学生を推奨。将来、接客業につきたいと考える人などに役に立つ科目。この授業では、ホテル・観光業における接客コミュニケーションやマナー、非言語行動を学ぶ。特に客への対応場面におけるコミュニケーションを学ぶ。また、学習者が能動的に観光に関する情報を自ら調べて整理し、自分の言葉で完結に述べたり議論したりしていく中で専門語彙・日本語表現・文法を身につけていく。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要。					
100302702	ビジネス日本語 I	ALL	2	羽鳥	火2限/木2限
この授業では、ビジネスマナーの基本、敬意表現と依頼・謝罪・断りなどの機能表現などを学びます。そして、ビジネス場面から会話文やマナーを学びます。そして、日本の企業文化などは、ケーススタディを読んだりディスカッションしたりし、理解を深め、ビジネス場面における発話力や表現力を養います。ビジネスに関する語彙や前置き表現なども合わせて学びます。また、ビジネス文書の読み方・書き方なども含め、読む・書く・聞く・話すの4技能をバランスよく学んでいきます。					
180292202	キャリア日本語（進学）	ALL	2	塩出	火2限/木2限
この授業は、論文の書き方と大学院進学準備のための科目です。大学院進学のための必要なスキルと論文の書き方を主に学びます。具体的には、大学院の探し方、大学院の分析、資料の取り寄せ方、志望動機の書き方などを学びます。この授業では、読む・話す・書く・聞くの4技能をバランスよく学びます。専門については、学習者が自ら資料を探し、発表し、学部で身につけておかなければならない自分の専門について、語れる、発表できる、論じられる内容の知識を身につけます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。					
180292103	キャリア日本語（就職）	ALL	2	羽鳥	月2限/水2限
この科目は、社会に出るための準備クラスです。将来、日本で働きたいと考える学生のために設定されています。この授業では、ビジネスコミュニケーションを図るために会社内の会話文やケーススタディから学びます。そして、就職のための日本語（履歴書の書き方、面接の仕方、企業分析、エントリーシートの書き方）を学びます。また、授業では、コミュニケーション能力を上げるために、テーマ別に調べる・考える・話し合うなどディスカッションを中心に授業を進めます。自らのテーマについてのプレゼンテーション力を上げる学びをします。また、協働で学び合う力も養います。					

【F2 に取れる科目】

科目コード	科目名	履修できる学科	単位	教員	曜日・時限
100410702	日本語Ⅱ	HL/HK/EL/EK	2	高木	水1限/金1限
100410705		BG/TW/FF/XA/PC EG/EW/EF/EA/EC	2	佐藤	月1限/水1限
<p>この授業は、「日本語Ⅰ」の授業に続き、さらに日本文化や社会に関する理解を深めながら、日本語のコミュニケーション力をつけることが目的です。授業では、毎回、日常生活や文化やニュースなどをテーマにして、それらに関する生の日本語を読んだり聞いたりしながら、話したり書いたりする練習を行います。コミュニケーションの練習には、それぞれ「Can-do (日本語を使ってできること)」という達成目標があります。この授業のすべての Can-do が達成できれば、日本での留学生活がもっと充実することでしょう。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100410902	統合日本語Ⅱ	ALL	2	高柳	月2限/水2限
<p>この授業では、「統合日本語Ⅰ」に引き続き、内容言語統合型学習 (CLIL) の4つのC (内容、言語知識・言語使用、思考、協学) の方法を用いて、学生の思考力や協働で学ぶ力を養います。この授業では、言語知識を学ぶだけでなく、学習者は能動的に参加し、発話力や表現力を養います。日本の社会問題や災害問題などオーセンティックな言語素材を通して読む・聞く・書く・話すの4技能を学び、学んだ言語知識が実際に使えるようにするためにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深めます。最後は発表したり議論したりして学びの成果をまとめます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100411003	日本語アカデミック・ライティング	BG/FF/TW/XA/PC EG/EW/EF/EA/EC	2	藤代	火1限/木1限
<p>この授業は、アカデミックなライティング力を養うことが目的です。日本の大学の一般的な日本語のレポートの書き方を学びながら、テーマについて考え、それをレポートにまとめる練習をします。授業では、まず自分の関心に合わせてテーマを選び、必要な調査を行い、調べたことをもとに考察し、1つのレポートを完成していきます。大学のレポートらしい論理の立て方、資料の集め方、引用の方法も学びます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100411104	日本語アカデミック・スピーキング	HL/HK/EL/EK	2	藤代	火3限/木3限
100411105		BG/TW/FF/XA/PC EG/EW/EF/EA/EC	2	高木	水2限/金2限
<p>この授業では、アカデミックなスピーキング力を養うことが目的です。特に、大学の授業で自分の考えを、スライドを使って口頭発表 (プレゼンテーション) する練習を行います。授業では、発表テーマの立て方、考察や結論のまとめ方、スライドと発表原稿の作り方や発表時の話し方まで、口頭発表の準備をしながら練習を重ねていきます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100411302	社会と文化の日本語 B	BG/TW/FF/XA/PC EG/EW/EF/EA/EC	2	尾本	火1限/木1限
100411304		HL/HK/EG/EL/EK	2	山崎	火2限/木2限
<p>この授業では、映像作品などを見たりしてペアワークやグループワークで理解を深めていきます。映像作品などでは、セリフの書き取りをした上で実際に話してみるなどの活動を通して、日本文化を理解していきます。漫画作品やなどは、学習者が能動的に自ら調べてまとめ、自分の言葉でストーリーを描写したり、作品について</p>					

<p>て議論したりして作品に関するレポートをまとめます。科学技術に関する情報についても同様に自分の言葉で語れる力を養います。学んだ内容を通して日本語表現・文法・語彙を学びます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
100353701	統合日本語Ⅲ	ALL	2	小塚	水1限/金1限
<p>この授業は、日本語の運用能力が上級程度の日本語力を有する学生を対象に開講されるクラスです。学習者は、様々なトピックについて日本語で学びます。SDGs や日本文化などオーセンティックな言語素材を通して読む・聞く・書く・話すの4技能を通して学び、学んだ言語知識が実際に使えるようになるために自分の言葉でまとめたり、意見を述べられるようにします。そして、クリティカルに考えられるようにペアワークやグループワークをしながら双方向の理解を深めます。最後は発表したり議論したりして学びの成果をまとめます。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要です。</p>					
180295603	専門日本語（文学・評論）	BG/TW/FF/XA/PC/ EG/EW/EF/EA/EC	2	尾本	月2限/水2限
<p>学部と社会につなげる学び：国際文化学科の学生を推奨。この授業では、日本文学を含む現代文章が読めて語れる学びにつなげる科目である。日本文学や現代文章を読む活動を通して日本人の価値観・思考、日本事情、そして日本文化について理解し、ペアワーク・グループワーク で語りあい、自分の考えを述べたり、議論したりできるようになることを目的としている。読む内容を通して日本語表現・文法・語彙を学び、発話力・表現力を身につける。最後には学習者が能動的に情報を自ら調べて整理し、作品に関するレポートをまとめる。授業外では、毎回、4時間程度の課題と復習が必要。</p>					
100302802	ビジネス日本語Ⅱ	ALL	2	羽鳥	火2限/木2限
<p>この授業では、「ビジネス日本語Ⅰ」に引き続き、ビジネス日本語を学びます。アポイントの取り方、会議に参加する、クレームを受ける・報告する・処理する、会議で提案する、催促する、交渉するなどのビジネス場面から会話文を学び、ペアワークやグループワークでディスカッションしながら理解を深めます。そして、企業文化などは、ケーススタディを読んだりディスカッションしたりします。ビジネスに関する語彙や前置き表現、敬意表現などを学びます。</p>					